

西暦	元号	主なできごと
794	延暦13	桓武、平安京遷都（山背国→山城国とあらためる）*平安時代開始
795	延暦14	雑徭半減（60日→30日）、公出挙利率減（5割→3割）
796	延暦15	◇教王護国寺（東寺）創建
797	延暦16	.2 『続日本紀』撰進 .9 勘解由使設置 .11 坂上田村麻呂、征夷大將軍に任命される
800		🌐 フランク王国のカール大帝戴冠
801	延暦20	.6 畿内の班田を12年1班とする
802	延暦21	.1 田村麻呂、胆沢城を築き、鎮守府を多賀城より移す
805	延暦24	.6 最澄帰国（天台宗開く）
806	延暦25	.8 空海帰国（真言宗開く）
810	弘仁元	.3 蔵人所を設置、藤原冬嗣が蔵人頭になる .9 薬子の変（平城太上天皇の変）*北家による他氏排斥のはじめ
811	弘仁2	.10 文室綿麻呂、蝦夷を服属させる
816	弘仁7	.6 空海、金剛峰寺創建
820	弘仁11	.4 弘仁格式成立（藤原冬嗣ら）
821	弘仁12	◇検非違使設置 ◇藤原冬嗣、勸学院創立
825	天長2	.1 冬嗣、右大臣となる .4 冬嗣が左大臣に、緒嗣が右大臣となる
833	天長10	.2 令義解の撰上（清原夏野ら）
838	承和5	.7 事実上、最後の遣唐使派遣
840		◇群盗頻発する
841	承和8	.12 『日本後期』（藤原緒嗣ら）
842	承和9	.7 承和の変（伴野健峯、橘逸勢ら流罪）
		藤原北家の台頭
857	天安元	.2 藤原良房、太政大臣就任
858	天安2	.11 惟人親王（清和天皇）、9歳で即位、良房が事実上の摂政の任につく

平安前期の人物史 🧑🧑

嵯峨天皇	786～842(在位809～823)第52代天皇。桓武帝の第2皇子。同母兄に平城天皇。聡明で君主としての器量を持ち、父桓武の政治改革を引き継ぐ。最澄と空海を重んじた。三筆の1人。
藤原冬嗣	775～826。藤原北家。薬子の変(平城太上天皇の変)に際して、嵯峨帝により蔵人頭に任命されたことが、北家躍進の基盤となる。温和で寛容。藤原一族をまとめることに心を砕いた。
藤原良房	804～872。冬嗣の次男。嵯峨上皇から目をかけられ、スピード出世。承和の変と応天門の変でライバル貴族を追い落とし、娘を天皇に嫁がせ、人臣初の摂政へと登りつめた。
藤原基経	836～891。良房の養嗣子。良房の後継者として、権勢を振るう。阿衡の紛議(阿衡事件)においては、天皇を謝罪させ、天下に藤原氏の力を見せつけた。人臣初の関白に登りつめた男。